

# 事例：Client J Framework(CJF)の環境改善効果

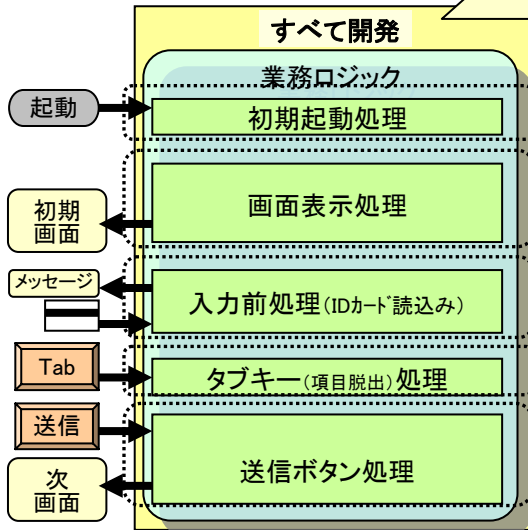
## 導入前

- \* 統一のない開発スタイル  
業務ロジックと制御ロジックを渾然一体で開発
- \* 制御ロジックを一から開発

## 導入後

- \* 統一した開発スタイル  
イベントに対応する業務固有ロジックの開発のみ
- \* CJFの制御ロジックを利用  
簡単な定義情報の作成のみ

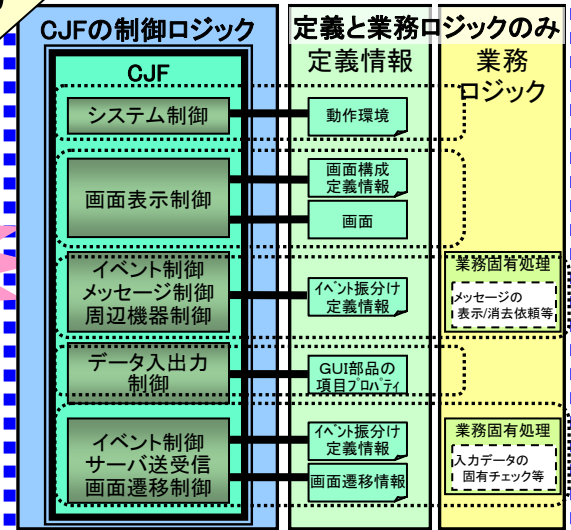
### 従来の開発



開発生産性

Javaリッチクライアント構築を  
簡単・確実にし、環境負荷を軽減

### CJF適用時の開発



開発量を削減

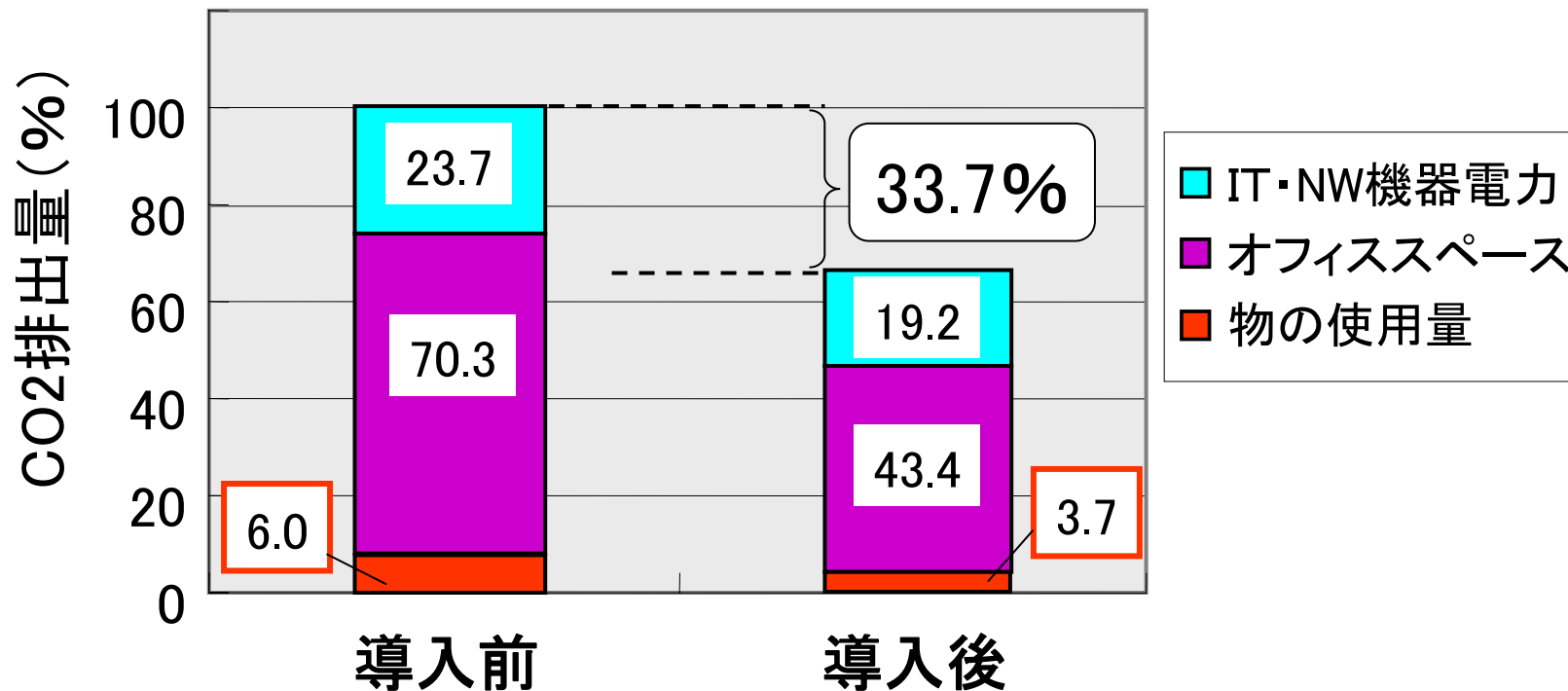
高品質確保

期間短縮

+

環境改善

# 「Client J Framework」のCO<sub>2</sub>排出量比較



ある業種固有のフレームワーク\*の開発データ(実績)と、CJFを未適用の場合の開発データ(推測値)を比較。

\*:ある業種にて業務アプリケーションの開発効率化と品質向上を目的に、業務処理を標準化し、CJF上に業種固有のフレームワークを開発した。

